



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和 7 年度
広域農業基盤整備管理調査
筑後川下流地区排水解析検討業務

積 算 書
(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

[illegible]

九州農政局

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
S02115	*** S単－ 1号 *** 主任技師					
	主任技師		人	70,900		歩A・単A
S02115	*** S単－ 2号 *** 技師 (A)					
	技師 (A)		人	62,600		歩A・単A
S02115	*** S単－ 3号 *** 技師 (B)					
	技師 (B)		人	49,300		歩A・単A
S02115	*** S単－ 4号 *** 技師 (C)					
	技師 (C)		人	42,500		歩A・単A
S02116	*** S単－ 5号 *** C D－R					
	C D－R					
	C D－R(記録面色素フタロシアニン) 7 0 0 MB,		枚	47		歩A・単A
S63003	*** S単－ 6号 *** 1-2.作業計画立案					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,3.00人,4.00人,2.00人,0.00人		式	611,800		歩A・単A
S63003	*** S単－ 7号 *** 2-1.実観降雨に基づく確率降雨量の算出					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人		式	398,800		歩A・単A
S63003	*** S単－ 8号 *** 2-2.気象予測資料の収集整理					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人		式	398,800		歩A・単A
S63003	*** S単－ 9号 *** 2-3.過去実験データの処理					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人		式	398,800		歩A・単A
S63003	*** S単－ 10号 *** 2-4.将来実験データの処理					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人		式	398,800		歩A・単A
S63003	*** S単－ 11号 *** 2-5.将来降雨予測に基づく確率降雨量の算出					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人		式	398,800		歩A・単A
S63003	*** S単－ 12号 *** 2-6.日降雨パターンの分析					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人		式	398,800		歩A・単A
S63003	*** S単－ 13号 *** 2-7.近年の降雨に対する気象変動の影響等の確認					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人		式	398,800		歩A・単A
S63003	*** S単－ 14号 *** 3.外水位(潮位、河川水位)の設定					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,6.00人,12.00人,24.00人,24.00人,20.00人		式	4,113,800		歩A・単A
S63003	*** S単－ 15号 *** 4.現況排水解析					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,15.00人,30.00人,45.00人,45.00人,45.00人		式	8,724,000		歩A・単A
S63003	*** S単－ 16号 *** 5.排水対策構想検討					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,8.00人,16.00人,32.00人,32.00人,32.00人		式	5,680,800		歩A・単A
S63003	*** S単－ 17号 *** 6.排水機場候補地の調査【内業】					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,6.00人,6.00人,6.00人,6.00人		式	1,359,300		歩A・単A
S63003	*** S単－ 18号 *** 7.照査					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式	212,700		歩A・単A
S63003	*** S単－ 19号 *** 8.点検取りまとめ					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,3.00人,3.00人,3.00人,2.00人		式	678,400		歩A・単A
S63003	*** S単－ 20号 *** 開示用成果物作成					
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.50人		式	18,350		歩A・単A
S63007	*** S単－ 21号 *** 1-1.現地調査					
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,2.00人,0.00人		式	450,600		歩A・単A
S63007	*** S単－ 22号 *** 6.排水機場候補地の調査【外業】					

[illegible]

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S02115	主任技師		人		1,000	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04003 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1,000	人	70,900	70,900	
	合 計				70,900	算出数量 1,000 人
	単 価				70,900	
	*** S単- 2号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04004 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師 (A)	1,000	人	62,600	62,600	
	合 計				62,600	算出数量 1,000 人
	単 価				62,600	
	*** S単- 3号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04005 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師 (B)	1,000	人	49,300	49,300	
	合 計				49,300	算出数量 1,000 人
	単 価				49,300	
	*** S単- 4号 ***					
S02115	技師 (C)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (C)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R04006 基(D2)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04006	技師 (C)	1,000	人	42,500	42,500	
	合 計				42,500	算出数量 1,000 人
	単 価				42,500	
	*** S単- 5号 ***					
S02116	C D-R		枚		1,000	歩A 当たり算出
	C D-R C D-R(記録面色素フタロシアニン)700MB,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード (P) 3)地区資材単価コード (J) 4)施設機械資材単価コード (K)	地域資材 (Pコード) P43602		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P43602	C D-R C D-R(記録面色素フタロシアニン)700MB	1,000	枚	47	47	
	合 計				47	算出数量 1,000 各単位

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価				47	
	*** S単— 6号 ***					
S63003	1-2.作業計画立案		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,3.00人,4.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	4.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)					
		4.000	人	49,300	197,200	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	42,500	85,000	
	合 計				611,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		611,800	
	*** S単— 7号 ***					
S63003	2-1.実績降雨に基づく確率降雨量の算出		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師 (A)					
		1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)					
		3.000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員					
		3.000	人	36,700	110,100	
	合 計				398,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		398,800	
	*** S単— 8号 ***					
S63003	2-2.気象予測資料の収集整理		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師 (A)					
		1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)					
		2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)					
		3.000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員					
		3.000	人	36,700	110,100	
	合 計				398,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		398,800	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 9号 ***					
S63003	2-3.過去実験データの処理		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)	3.000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員	3.000	人	36,700	110,100	
	合 計				398,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		398,800	
	*** S単一 10号 ***					
S63003	2-4.将来実験データの処理		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)	3.000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員	3.000	人	36,700	110,100	
	合 計				398,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		398,800	
	*** S単一 11号 ***					
S63003	2-5.将来降雨予測に基づく確率降雨量の算出		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)	3.000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員	3.000	人	36,700	110,100	
	合 計				398,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		398,800	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単－ 12号 ***					
S63003	2-6.日降雨パターンの分析		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の数	3.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)	3.000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員	3.000	人	36,700	110,100	
	合 計				398,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		398,800	
	*** S単－ 13号 ***					
S63003	2-7.近年の降雨に対する気象変動の影響等の確認		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の数	3.00人				
R04004	技師 (A)	1.000	人	62,600	62,600	
R04005	技師 (B)	2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)	3.000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員	3.000	人	36,700	110,100	
	合 計				398,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		398,800	
	*** S単－ 14号 ***					
S63003	3.外水位(潮位、河川水位)の設定		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,6.00人,12.00人,24.00人,24.00人,20.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	6.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	12.00人				
	5)技師Bの人数	24.00人				
	6)技師Cの人数	24.00人				
	7)技術員の数	20.00人				
R04003	主任技師	6.000	人	70,900	425,400	
R04004	技師 (A)	12.000	人	62,600	751,200	
R04005	技師 (B)	24.000	人	49,300	1,183,200	
R04006	技師 (C)	24.000	人	42,500	1,020,000	
R04007	技術員	20.000	人	36,700	734,000	
	合 計				4,113,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		4,113,800	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 15号 ***					
S63003	4. 現況排水解析		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,15.00人,30.00人,45.00人,45.00人,45.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	15.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	30.00人				
	5)技師Bの人数	45.00人				
	6)技師Cの人数	45.00人				
	7)技術員の人数	45.00人				
R04003	主任技師	15.000	人	70,900	1,063,500	
R04004	技師 (A)	30.000	人	62,600	1,878,000	
R04005	技師 (B)	45.000	人	49,300	2,218,500	
R04006	技師 (C)	45.000	人	42,500	1,912,500	
R04007	技術員	45.000	人	36,700	1,651,500	
	合 計				8,724,000	算出数量 1,000 式
	単 価		式		8,724,000	
	*** S単一 16号 ***					
S63003	5. 排水対策構想検討		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,8.00人,16.00人,32.00人,32.00人,32.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	8.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	16.00人				
	5)技師Bの人数	32.00人				
	6)技師Cの人数	32.00人				
	7)技術員の人数	32.00人				
R04003	主任技師	8.000	人	70,900	567,200	
R04004	技師 (A)	16.000	人	62,600	1,001,600	
R04005	技師 (B)	32.000	人	49,300	1,577,600	
R04006	技師 (C)	32.000	人	42,500	1,360,000	
R04007	技術員	32.000	人	36,700	1,174,400	
	合 計				5,680,800	算出数量 1,000 式
	単 価		式		5,680,800	
	*** S単一 17号 ***					
S63003	6. 排水機場候補地の調査【内業】		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,6.00人,6.00人,6.00人,6.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	6.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	70,900	212,700	
R04004	技師 (A)	6.000	人	62,600	375,600	
R04005	技師 (B)	6.000	人	49,300	295,800	
R04006	技師 (C)	6.000	人	42,500	255,000	
R04007	技術員	6.000	人	36,700	220,200	
	合 計				1,359,300	算出数量 1,000 式

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		1,359,300	
	*** S単－ 18号 ***					
S63003	7.照査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		3.000	人	70,900	212,700	
	合 計				212,700	算出数量 1.000 式
	単 価		式		212,700	
	*** S単－ 19号 ***					
S63003	8.点検取りまとめ		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,2.00人,3.00人,3.00人,2.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師					
		2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)					
		3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
		3.000	人	42,500	127,500	
R04007	技術員					
		2.000	人	36,700	73,400	
	合 計				678,400	算出数量 1.000 式
	単 価		式		678,400	
	*** S単－ 20号 ***					
S63003	開示用成果物作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.50人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04007	技術員					
		0.500	人	36,700	18,350	
	合 計				18,350	算出数量 1.000 式
	単 価		式		18,350	
	*** S単－ 21号 ***					
S63007	1-1.現地調査		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,2.00人,2.00人,2.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
	外業	2.000	人	70,900	141,800	
R04004	技師 (A)					
	外業	2.000	人	62,600	125,200	
R04005	技師 (B)					
	外業	2.000	人	49,300	98,600	
R04006	技師 (C)					
	外業	2.000	人	42,500	85,000	
	合 計				450,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		450,600	
	*** S単一 22号 ***					
S63007	6.排水機場候補地の調査【外業】		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	0.00人,0.00人,0.00人,3.00人,3.00人,3.00人,0.00人			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	0.00人				
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)					
	外業	3.000	人	62,600	187,800	
R04005	技師 (B)					
	外業	3.000	人	49,300	147,900	
R04006	技師 (C)					
	外業	3.000	人	42,500	127,500	
	合 計				463,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		463,200	
	*** S単一 23号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.2日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04003	主任技師					
		0.700	人	70,900	49,630	
R04004	技師 (A)					
		0.700	人	62,600	43,820	
	合 計				93,450	算出数量 1.000 回
	単 価		回		93,450	
	*** S単一 24号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	中間				
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	筑後川下流地区排水解析検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04004	技師 (A)	0.700	人	62,600	43,820	
R04005	技師 (B)	0.700	人	49,300	34,510	
	合 計				78,330	算出数量 1.000 回
	単 価		回		78,330	
	*** S単一 25号 ***					
S63018	旅費交通費 (設計外業日帰用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業日帰用) ライトバン,5日,3時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)高速道路往復料金 (税別)	2,690円		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数の入力	5日				
	8)時間区分	3時間				
	9)設計用技師長外業日数	0.000日				
	10)設計用主任技師外業日数	2.000日				
	11)設計用技師A外業日数	5.000日				
	12)設計用技師B外業日数	5.000日				
	13)設計用技師C外業日数	5.000日				
	14)設計用技術員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	5.000	式	2,690	13,450	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	5.000	日	2,560	12,800	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	40.500	L	151	6,116	
	合 計				32,366	算出数量 1.000 式
	単 価		式		32,366	
	*** S単一 26号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1,A-4,800,10cm,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分	A-4		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)枚数区分(枚)	800		深夜時間:0.0		
	4)厚さ区分	10cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43496	報告書焼付代 (コピー) A-4以下 800枚	1.000	部	10,200	10,200	
P43544	簡易加除式ファイル A4縦型幅10cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	886	886	
P43602	CD-R CD-R(記録面色素フタロシアニン)700MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				11,086	算出数量 1.000 式
	単 価		式		11,086	
	*** S単一 27号 ***					
S63031	《打合せ (設計旅費・交通費)》		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	《打合せ (設計旅費・交通費)》 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般 交通機関,0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ内容	着手前・最終		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師配置人員	1人		深夜時間:0.0		
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	一般交通機関				
	9)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	10)鉄道往復1人当料金 (税別)	1,800円				
	11)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	12)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				

九州農政局

令和 7 年度広域農業基盤整備管理調査
筑後川下流地区排水解析検討業務

特 別 仕 様 書

九州農政局

北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 則

(適用範囲)

第1-1条

令和7年度広域農業基盤整備管理調査筑後川下流地区排水解析検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1-2条

本業務は、国営かんがい排水事業「筑後川下流地区」の排水計画について、将来の降雨予測に基づく流域雨量の確率降雨量の検討及び過年度の実績降雨との比較を行い、各地域において外水位の設定を行うとともに、排水解析を実施し整備水準を満足する排水対策の構想検討を行うものである。

(場所)

第1-3条

本業務において対象とする場所は、福岡県久留米市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、みやま市、三潴郡大木町、佐賀県佐賀市、神埼市、武雄市、三養基郡上峰町、同郡みやき町、神埼郡吉野ヶ里町、杵島郡白石町で別添業務位置図に示すとおりである。

(土地への立入り等)

第1-4条

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(一般事項)

第1-5条

業務請負契約書、共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1-6条

管理技術者は、共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(照査技術者)

第1-7条

- (1) 照査技術者は、共通仕様書第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に

係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
技 術 士	農 業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(2) 共通仕様書第 1-7 条第 4 項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- 1) 業務計画作成時
- 2) 計画基準降雨及び外水位の検討時
- 3) 現況排水解析検討時
- 4) 排水対策構想検討時
- 5) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

(3) 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(担当技術者)

第 1－8 条

担当技術者は共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第 1－9 条

共通仕様書第 1-11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1-12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第 1－10 条

受注者は、共通仕様書第 1-37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 2 章 作業条件

(適用する図書)

第 2－1 条

設計の基本的事項に関しては、「土地改良事業計画設計基準 計画 排水（令和 7 年 4 月）」を優先して適用する。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

(参考図書)

第2-2条

設計作業の参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	土地改良事業計画(排水)における将来の降雨予測に基づく確率降雨量算定マニュアル	農林水産省農村振興局	令和7年10月
2	農地防災事業便覧(改訂第4版)	農地防災事業研究会	平成11年1月
3	農業農村整備事業計画便覧	農業農村整備事業計画研究会	平成15年8月
4	国営土地改良事業調査計画マニュアル	(社)農業土木事業協会	平成5年3月
5	土地改良事業計画設計基準 設計 水路工	農業農村工学会	平成26年3月
6	土地改良事業計画設計基準 設計 ポンプ場	農業農村工学会	平成30年5月

(貸与資料等)

第2-3条

貸与資料は次のとおりである。

分類	名 称	数量
設計関係資料	令和7年度広域農業基盤整備管理調査 筑後川下流地区排水解析検討業務報告書	1式
〃	令和6年度広域農業基盤整備管理調査 筑後川下流地区排水解析検討業務報告書	1式
〃	令和5年度広域農業基盤整備管理調査 筑後川下流地区排水解析検討業務報告書	1式
〃	令和5年度地区調査 佐賀中部地区排水計画(案)策定業務	1式
〃	平成13年度 筑後川下流地区排水計画検討業務報告書	1式
〃	平成16年度 排水管理検討業務報告書	1式
〃	平成17年度 排水管理検討業務報告書	1式
〃	平成18年度 排水管理検討業務報告書	1式
〃	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-4条

第2-2条、第2-3条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、作業時点の最新版を用い、作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時まで一括返納しなければならない。

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりであり、詳細は別紙1【作業項目内訳表】に示すものとする。

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 計画・準備	1 式	
1-1. 現地調査	1 式	
1-2. 作業計画立案	1 式	
2. 将来の降雨予測に基づく確率降雨量の検討	1 式	
2-1. 実績降雨に基づく確率降雨量の算出	1 式	
2-2. 気象予測資料の収集整理	1 式	
2-3. 過去実験データの処理	1 式	
2-4. 将来実験データの処理	1 式	
2-5. 将来降雨予測に基づく確率降雨量の算出	1 式	
2-6. 日降雨パターンの分析	1 式	
2-7. 近年の降雨に対する気象変動の影響等の確認	1 式	
3. 外水位（潮位、河川水位）の設定	1 式	
4. 現況排水解析	1 式	
5. 排水対策構想検討	1 式	
6. 排水機場候補地の調査	1 式	
7. 照査	1 式	
8. 点検とりまとめ	1 式	

(作業の留意点)

第3-2条

作業の実施に際し特に留意する点は次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法、アウトプット及びソフト名称等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-1条、第2-2条、第2-3条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 業務履行中において、一部成果物の提出を求めることがあるが、受注者はこれに協力するものとする。
- (4) 排水対策構想検討の検討にあたっては、最新の新素材、新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
 - ・ 農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、<http://www.nn-techinfo.jp> を参照。
 - ・ 新技術情報システム（NETIS）については、<http://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。

- (5) 共通仕様書第 1-11 条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないこととする。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第 3-3 条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の (1) から (4) によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト (CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」) に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

ア 受注者は、(1) の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記アに示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案） 6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3) に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL(https://depadv.jcomsia.org/photofinder/pac_auth.php) のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、間接経費に含まれる。

第 4 章 打合せ

(打合せ)

第 4-1 条

共通仕様書第 1-10 条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第 2 回 中間打合せ（確率降雨量の算出段階）

第 3 回 中間打合せ（計画基準外水位の検討段階）

第 4 回 中間打合せ（現況排水解析段階）

第 5 回 中間打合せ（排水対策構想検討段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、

上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。
打合せ方法については、対面方式からW e b 方式に変更する場合がある。

第5章 成果物

(成果物)

第5-1条

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1. 成果物の電子媒体 (CD-R 等) 正副2部
2. 成果物の出力 1部 (電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

(開示用成果物の作成及び提出)

第5-2条

第5-1条に記載している成果物 (PDF ファイル) に含まれる、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

1. 開示用成果物の電子媒体 (CD-R 若しくは DVD-R) 1部

(成果物の提出先)

第5-3条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口891-20
九州農政局北部九州土地改良調査管理事務所

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (2) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (3) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (4) 履行期間の変更が生じた場合。
- (5) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (6) その他

(業務スライドの試行)

第6-2条

- (1) 本業務は、「建設コンサルタント業務等における賃金等の変動に基づく業務費の変更の取扱いについて (試行)」(令和7年12月17日付け7農振第2167号農村振興局整備部設計課長通知 (URL「<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/attach/pdf/index-256.pdf>」)) に基づく試行業務である。
- (2) 発注者又は受注者は、履行期間内で業務契約締結の日から12月を経過した後に日本国内における賃金水準又は物価水準の変動により業務費が不適当となったと認めたときは、相手方に対して業務費の変更を請求することができる。
- (3) 発注者又は受注者は、(2)の規定による請求があったときは、変動前残業務費 (業務費から当該請求時の履行済部分に相応する業務費を控除した額をいう。以下この条において同じ。) と

変動後残業務費(変動後の賃金又は物価を基礎として算出した変動前残業務費に相応する額をいう。以下この条において同じ。)との差額のうち変動前残業務費の1000分の15を超える額につき、業務費の変更に応じなければならない。

- (4) 変動前残業務費及び変動後残業務費は、請求のあった日を基準とし、物価指数等に基づき発注者と受注者とが協議して定める。

ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあっては、発注者が定め、受注者に通知する。

- (5) (2)の規定による請求は、この条の規定により業務費の変更を行った後再度行うことができる。この場合において、(2)中「業務契約締結の日」とあるのは、「直前のこの条に基づく業務費変更の基準とした日」とするものとする。

- (6) 予想することのできない特別の事情により、履行期間内に日本国内において急激なインフレーション又はデフレーションを生じ、業務費が著しく不適当となったときは、発注者又は受注者は、(2)～(5)の定めにかかわらず、業務費の変更を請求することができる。

- (7) (6)の場合において、業務費の変更額については、発注者と受注者とが協議して定める。

ただし、協議開始の日から14日以内に協議が整わない場合にあっては、発注者が定め、受注者に通知する。

- (8) (4)及び(7)の協議開始の日については、発注者が受注者の意見を聴いて定め、受注者に通知しなければならない。

ただし、発注者が(2)、(6)の請求を行った日又は受けた日から7日以内に協議開始の日を通知しない場合には、受注者は、協議開始の日を定め、発注者に通知することができる。

- (9) 業務スライドの試行に係る運用については、(1)に記載の通知に基づくものとする。

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7－1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙 1 【作業項目内訳表】

作 業 項 目	作 業 内 容	数 量
1. 計画・準備		
1-1. 現地調査	本業務の排水解析や排水対策の検討に必要な現地条件、施設情報や地理情報などを把握するための現地調査を実施する。	1 式
1-2. 作業計画立案	業務全体の作業方針を立案するとともに、業務遂行のための資料収集を行う。また貸与資料の内容を把握の上、業務計画書や業務工程表を作成し、業務の計画準備を行う。	1 式
2. 将来の降雨予測に基づく確率降雨量の検討	筑後川下流左岸地域、筑後川下流右岸地域、白石地域の排水解析の検討範囲を対象とし、各地域において将来の降雨予測に基づく流域雨量での確率降雨量(1/10)の検討を行う。なお、作業手順は令和 7 年 10 月 17 日に改訂された「土地改良事業計画（排水）における将来の降雨予測に基づく確率降雨量算定マニュアル」による。	
2-1. 実績降雨に基づく確率降雨量の算出	気象庁 HP から実績降雨（時間雨量）の観測データ（1981 年 9 月 1 日～2011 年 8 月 31 日までの 30 年の期間）を入手し、各年における年最大値の算出（1～3 日連続降雨）、確率降雨量（1/10）を算出する。 なお、2-3、2-4 において過去実験値及び将来実験値のバイアス補正を行うために必要な観測値の 100 パーセンタイル値についても算出する。	1 式
2-2. 気象予測資料の収集整理	気象予測資料（データセット）は d2PDF(5km)とし、HP に公開されている「全国 5 kmメッシュアンサンブル気象予測データ」から、過去実験データ（過去実験 12 メンバ×30 年分（1981 年 9 月 1 日～2011 年 8 月 31 日））及び将来実験データ（将来実験 12 メンバ×60 年分（2031 年 9 月 1 日～2091 年 8 月 31 日））の時間降雨量データを収集し整理する。	1 式
2-3. 過去実験データの処理	2-2 で収集した過去実験データを用いて、各年における年最大値を算出（1～3 日連続降雨）し、流域雨量での確率降雨量（1/10）を算出する。 また、過去実験値のバイアス補正を行い、補正した過去実験値に基づく流域雨量での確率降雨（1/10）を算出する。	1 式
2-4. 将来実験データの処理	2-2 で収集した将来実験データを用いて、各年における年最大値を算出（1～3 日連続降雨）し、流域雨量での確率降雨量（1/10）を算出する。 また、2-3 で算出したバイアス補正の補正係数を引用し、補正した将来実験値に基づく流域雨量での確率降雨量(1/10)を算出する。	1 式
2-5. 将来降雨予測に基づく確率降雨量の算出	2-3、2-4 で算出した 1～3 日連続降雨量に対して、過去と将来の実験値に基づく各確率降雨量の比から降雨量変化倍率を算出し、2-1 で算出した実績降雨に基づく確率降雨量(1/10)に乗じて将来の降雨予測に基づく流域雨量での将来の確率降雨量を算出する。	1 式

作 業 項 目		作 業 内 容	数 量
	2-6. 日降雨パターンの分析	実績降雨の日降雨パターン及び補正した将来実験値の日降雨パターンを各々検討し日配分雨量を求めるとともに、日配分雨量に対する時間配分の検討も行う。 なお、前歴事業の波形との比較検討も行う。	1 式
	2-7. 近年の降雨に対する気候変動の影響等の確認	2011 年以降の近年の降雨の影響等を確認するため、過年度業務で算出した近年までの実績降雨の降雨資料から確率降雨量(1/10)と 2-5 で算出した将来降雨予測に基づく確率降雨量との比較を行い筑後川下流左岸地域、筑後川下流右岸地域、白石地域で採用する計画降雨の作成を行う。	1 式
3. 外水位（潮位、河川水位）の設定		過年度業務で検討した外水位（潮位、河川水位）について整理し、筑後川下流左岸地域、筑後川下流右岸地域、白石地域で採用する外水位を設定する。	1 式
4. 現況排水解析		別紙 2 の検討ケースについて、現況排水解析を行う。なお、計算結果（湛水面積等）の整理に併せて湛水状況図を作成する。	1 式
5. 排水対策構想検討		4. 現況排水解析の結果に基づき、整備水準（原則無湛水（5cm以下）、概ね10%の湛水面積は許容）を満たすための排水対策を反映した計画排水解析を行う。 なお、排水対策は各排水地区につき 2 パターン程度とし、排水施設（排水機場や排水樋門）の追加や規模拡大、排水路の新設や排水系統の見直し等、排水河川の整備状況等を勘案した対策を想定している。	1 式
6. 排水機場候補地の調査		筑後川下流左岸地域、筑後川下流右岸地域、白石地域の排水受益について、排水機場を設置可能な候補地について関係機関に聞き取り及び現地確認を行い、各地区 2 枚程度で図面、写真に整理する。	1 式
7. 照査		照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	1 式
8. 点検とりまとめ		各作業項目の成果資料の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。	1 式

【別紙2】現況排水解析及び排水対策構想検討の検討ケース一覧表

検討 ケース	解析条件	対象排水ブロック（対象ブロックは○）									備考
		①筑後 北部	②筑後 中部	③大和	④三田川	⑤千代田	⑥徳永・ 諸富	⑦川副 （徳永）	⑧川副 （南里）	⑨白石	
(1)	1/10確率降雨、 計画河川断面、 先行排水無し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9地区
(2)	1/10確率降雨、 現況河川断面、 先行排水無し	○	○	○	—	—	—	—	—	—	3地区
(3)	1/10確率降雨、 計画河川断面（花宗川、新橋川の み1/2暫定計画断面）、 排水慣行見込む、 先行排水無し	○	○	—	—	—	—	—	—	—	2地区
(4)	1/10確率降雨、 計画河川断面（花宗川、新橋川の み1/2暫定計画断面）、 排水慣行見込まない、 先行排水無し	○	○	—	—	—	—	—	—	—	2地区

令和7年度 広域農業基盤整備管理調査
筑後川下流地区排水解析検討業務

図面目録

[illegible]

業務位置図

